

# 地域再生計画

## 1. 地域再生計画名称

伊江島産業活性化計画

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

沖縄県国頭郡伊江村

## 3. 地域再生計画の区域

沖縄県国頭郡伊江村の全域

## 4. 地域再生計画の目標

### (1) 伊江村の現状と課題

伊江村は沖縄本島北部の本部半島より北西9kmの洋上に浮かぶ1島1村の離島である。島の輪郭は東西8.4km、南北3km、中央部がくびれたピーナツ形で総面積は約23km<sup>2</sup>、周囲23kmである。

人口は5,210人、総世帯数2,150世帯(平成18年7月現在)県内有人離島中8番目の大きさの島であり、気候は亜熱帯で平均22度の温暖な気温に恵まれ年間降雨量も1,650mmとなっているが季節的に偏りがあり、夏から秋にかけて台風の襲来、また、保水力に乏しい地質ゆえに毎年干ばつを繰り返している。

産業構造は農業・水産業を中心とした第1次産業が多く、就業人口でみた構成比では47.6%、2次産業・13.8%、3次産業・38.6%(平成12年)となっている。

過去20年間の人口の動向は、過疎化が進んでいるが、ここ10年での大きな人口減少は見られない。しかし、老年人口が多く生産年齢人口が少ないという大きな課題を抱えている。平成18年前期時点での、就業対象年齢者は約2,500名(18~59歳人口)で、その内134名が失業状態にある。

さらに、本村の特殊事情として島の西側に801ha いわゆる米軍提供施設用地があり、総面積の約35%を占め、農業基盤の整備、漁業操業区域等の制限を受けている。

一方、沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業(島田懇談会事業)においては、

港湾ターミナル整備が完了し、特産品や観光情報の情報拠点とし今後の活用が期待されている。

また、村民レク広場に伊江島カントリークラブ、隣接して子どもの森ハイビスカス園も整備され、観光を基盤としたハードは整った。

今後は、これらの施設を有機的に複合させ、伊江村独自の特徴ある施策を講じるためのソフト開発、人材育成が必要不可欠となっている。

## (2) 計画の意義と目標

### 産業の振興

#### イ. 農業の振興

本村の主要産業である農業の振興については、今後とも生産基盤の整備拡充、特に農業用水の確保のため地下ダムやかんがい排水施設等の整備を行い、安定生産に向けた条件整備を推進する。

農産物の生産においては、基幹作物である菊等の増収と品質の向上、特産品の開発などを実現していくために、農業近代化施設整備をはじめ、農地の流動化、栽培技術の向上を図る。

畜産においては、肉用牛の生産頭数の増頭や優良系統の普及、肥育技術の向上等に努める。また、他産業との連携を図り、農産物加工品の開発や観光農業等の取り組みを推進する。

#### ロ. 水産業の振興

水産業は、現在のはえ縄漁を基軸とした展開に加え、多様な水産業の振興を図り、漁港をはじめ、魚礁等の生産基盤整備の拡充を進める。

養殖、放流事業や種苗供給等を積極的に推進し、獲る漁業から栽培漁業等のつくり育てる漁業を促進する。また、他産業との連携を図り水産物加工品の開発や、観光漁業等の取り組みを推進する。

#### ハ. 製造加工業の振興

製糖業については、さとうきび原料の減少により平成15年度に製糖工場は閉鎖したが、さとうきびは島の農業振興に重要な作物であり将来ともさとうきびの生産奨励を促進し、原料規模に見合った効率の良い新たな工場建設に向けて取り組む。その他の製造業については、地元産品を生かした農水産加工品やお土産品の開発など地域特産品造りを促進し、産業化を目指す。

本村の産業は、各種の施設の連携をはじめ地域経済の総合的な繋がりが必要である。その中で、第1次産業と第2次産業との連携だけでなく第3次産業の観光との連携を強化して、総合的な連携で産業の振興を図ることを目標とする。

#### 観光産業の振興

##### イ. アイランドツーリズム構想(観光・島づくり構想)

本村の観光は本島内の小学校や本土の高校生を中心にした修学旅行の場として定着してきたが、従来の見る観光から体験滞在型観光を振興し、民泊事業の展開により雇用の創出と高齢者をはじめとする村民と都市地区の子ども達との世代間交流により新たな観光産業の展開を推進する。

今後、長期滞在型の観光と連携して第1次産業の振興や村民レク広場のゴルフ場、畑、花園や公園等も体験・学習の場としての活用を図ることが重要である。

これまで親しまれてきた城山、湧出(ワジー)や新たな村民レク広場子どもの森を利用したネイチャーガイド・フラワーガイドの養成、さらに農業や漁業と連携したグリーンツーリズム、ブルーツーリズム等の産業を育成すると共に、小中学生ゴルフ大会をはじめ、スポーツ・レクリエーションイベントやスポーツ合宿等の誘致を図るために各種施策を推進する。

#### ロ. フラワーアイランドの形成

リリーフィールド公園でのゆり祭りや村民レク広場を活用したハイビスカス祭りの開催をはじめとして1年中花が咲き誇る島として、伊江村の自然・歴史文化的資源を活用した観光振興、さらに、専門的な技術者の養成を図り、総合型観光産業を育成するものとする。

#### ハ. 観光振興環境の整備

観光客が快適に過ごしてもらうためにもリゾート関連施設の整備や宿泊施設のサービス内容の向上に努めると共に、情報提供の拡充を図る。

また、これらの個別経営体の経営内容の向上並びに観光協会等関連組織の強化を図る。

村内を観光リゾートにふさわしい環境とするためにも、港湾の整備利用促進、幹線道路等の緑化をはじめ、集落内の花いっぱい運動、海岸・段丘の緑地化など、緑豊かな環境の創造に努める。

城山、自然海浜及び海域、村民レク広場、農地の広がり、村踊り、シマンチュ(島民)とのふれあい等島の様々な魅力を素材にして島を活性化していくために、観光地の整備・充実、新たな観光メニューの開発、地域ガイドシステム等適切な観光情報機能の構築等観光による島づくりを目標として進める。

#### 情報通信システムの確立

今日の高度情報化の時代において、多くの情報通信機器が発達普及しており、産業、医療・福祉、文化、行政などのあらゆる分野におけるより高次な情報・通信システムが要求され、伊江村無線アイランド構想に基づき各種情報通信施設の活用の必要がある。特に、離島である本村においては、保健・医療情報システムをはじめ、観光情報や物産情報システムの構築等の活用も重要である。また、より豊かな村民の生涯学習を支援するためにも、文化情報システム等の導入・活用

を促進する。

なお、行政においても村民とのコミュニケーション、あるいは行政サービスの向上及び地域活性化を図るために地域イントラネットを整備して地域の資源等のコンテンツの充実を図り、情報格差のない離島、そして、地域経済の一端を担う産業を育成することを目標とする。

以上の取り組みにより計画目標を下記のとおり設定する。

新規雇用の創出	96人(平成20年度までの延べ)
立地企業の増加	42社(平成20年度までの延べ)
民家宿泊受入人数	1万2千人(平成18年度の予約数) 2万2千人(平成20年度見込み)

## 5、目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

本村の地域資源である、「豊かな自然とその中で暮らす人」を活かし、都市部との交流人口の増大を目指し、体験滞在型観光事業(民家宿泊事業、長期滞在型観光事業等)の基盤整備、及び、フラワーアイランド事業(ハイビスカス、ユリ、サルスベリ等)を推進し、日帰り周遊型観光から体験滞在型観光への転換を図る。

各事業を中心となって推進するプロデューサー育成、入域数の増大及び滞在時間の長期化に伴う体験メニューの開発・指導者の育成、観光・自然・語学等専門ガイド人材等の育成を行う。

また、豊かな地域産物を活用し、農産物、水産物の加工開発技術を地域内に蓄積し、特産品の開発を行う人材育成や無線アイランド構想を軸とした、地域イントラネット網を活用し、コンテンツ開発起業支援や人材育成も行い、若年層の地域外流出を抑え、UIターンによる雇用機会の拡大を図ることにより、地域内の産業を活性化し地域の振興を図る。

### 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

### 5 - 3 その他の事業

#### 5 - 3 - 1 支援措置を受けて行う取組

地域提案型雇用創造促進事業(パッケージ事業)【C0901】

1. 実施主体 伊江村地域雇用創造協議会  
(伊江村、伊江村観光協会、伊江村商工会、JAおきなわ伊江支店、伊江漁業協同組合、伊江シャーギシ管理株式会社、株式会社伊江島物産センター)

2. 実施年度 平成18年度～平成20年度

3. 事業内容

観光産業活性化に伴う雇用の創造・促進事業

(1) 民家宿泊事業

滞在型観光の核となる伊江村民家宿泊事業の拡大による入域数の増大に対応するための人材を育成する。

オペレーション人材の育成

IT 管理者の育成

観光案内人の育成及びマニュアル作成

(2) 長期期滞在型観光事業

民家宿泊の実績を活用し、新事業として一般客を民家に長期滞在させるロングステイ事業を推進するための人材を育成する。

フラワーアイランド構想に基づく体験観光人材育成

ユリ、ハイビスカスを中心とした花の島構想を実現するための専門家育成

水産・農産特産品の製造・販売に伴う雇用の創造促進事業

水産・農産特産品の開発プロデューサー人材育成

製造・商品化指導員の育成

地域イントラネット敷設に伴う雇用創造・促進事業

コンテンツ開発者育成

コンテンツ制作起業支援

5 - 3 - 2 支援措置によらない独自の取組

伊江村無線アイランド構想

概要 離島である本村は光ファイバの構築にはコストが高く、現状では、到底サービスは行えない。そのために18GHzFWA 無線を構築して村民への情報サービスとコンテンツ制作会社を設立して情報の提供を図る。

構想期間 平成16年度～平成20年度

(主なまつり・イベント)

伊江島一周マラソン大会

概要 市民マラソン。3キロ、5キロ、10キロ、ハーフマラソンの4種目を行い多くのランナーでにぎわう。ハーフコースは米軍演習地内を走ることができる大会で、前夜祭のふれあいパーティでは島の味、人とのふれあいが好評を博している。

開催期日 毎年4月第2土曜(開会式・ふれあいパーティ)翌日曜日 競技

#### 伊江島ゆり祭り

概要 日本に自生する原種ユリのひとつテッポウユリを20万株植栽するリリーフィールド公園で開催される花見祭り。日本で一番早いゆり祭り(2006年9月現在)で、自生地が一番早く花開くテッポウユリのゆり前線の発祥の地である。年間入域数の約3割がこの期間に集中する一大イベントに成長している。

開催期日 4月第4土曜日～5月上旬

#### イエサウンドジャンボリー

概要 民俗芸能の盛んな伊江島に新しい音楽のムーブメントを起こそうと始まった野外コンサートイベント、全国区のアーティストがボランティアで集結し繰り広げるアンブレグドライブ。開催3年目を向かえ、定着しつつある。

開催期日 7月上旬

#### 伊江村産業まつり

概要 地域内の産物や特産品が一堂に集まる物産展示会、ブーゲンビレア品評会やバザーなども行われる。

開催期日 11月中旬

#### 伊江村民俗芸能発表会

概要 国指定重要無形民俗文化財「伊江島の村踊り」を継承する8箇所の集落の輪番による発表会。1年以上かけて世代間の伝承を受け、組み踊りから二才(青年)踊りなど独特の地域芸能を披露する。

開催期日 11月中旬

#### ハイビスカス祭り

概要 村民レク広場の子どもの森ハイビスカス園を中心に、ハイビスカスの花の満開時期にあわせ開催される。スポーツイベントやコンサートなども併催され年の瀬の花祭りとして定着させたい。

開催期日 12月下旬

## 6. 計画期間

認定の日から平成21年3月末まで

## 7. 目標の達成状況に係る評価に関する項目

地域再生計画の目標に掲げた指標に対する達成状況を本村が開催する各種講習

会の利用者等に対し、アンケート調査を行い、毎年度評価して本村のホームページを利用して公表する。

## **8. 地域再生計画の実施に関し当該地方自治体が必要と認める事項**

該当無し